

R5年度 全国学力・学習状況調査の結果と分析

江別市立大麻西小学校

【全国学力・学習状況調査 大麻西小の概要】

4月18日（火）に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果については、7月下旬に新聞やテレビ、インターネット上で公表されました。本校にも個々の児童の結果が送付され、本調査を実施した6年生の児童を通じて保護者の皆様にお知らせいたしました。

本校の6年生全体の傾向としては、全国の平均正答率と比べて、『国語』は「上回っている」、『算数』も「上回っている」という結果でした。

『児童質問紙』の回答では、基本的な生活習慣や学習習慣が身につけている、昨年度の課題は改善された反面、外国語などが課題となりました。

調査結果から見られた傾向

出題された問題や難易度、調査を受けた児童が6年生のみということもあり、今回の調査は国語科、算数科の学力の一端を示すものでありますが、今年度4月に2～5年生を対象に実施した標準学力検査（NRT）においても、学習内容の理解状況については全国学力・学習状況調査結果と同様な傾向も見られております。

したがって、その結果を分析しながら、学校では、基礎的・基本的な学習内容の定着及び家庭学習の習慣化、より望ましい生活習慣の確立をめざし、今後も右記の取組を重点として進めてまいります。

【正答率の高かった事項】

○話すこと・聞くこと分野で必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえることはできていました。立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめるなどの学習活動を充実させることを今後も意識していきます。

【正答率の低い事項と改善策】

△言葉の特徴や使い方に関する事項で漢字の送り仮名、敬語の使い方が、全国比を下回りました。特に敬語は、尊敬語、謙譲語、敬語の区別がついていない子が多くいました。

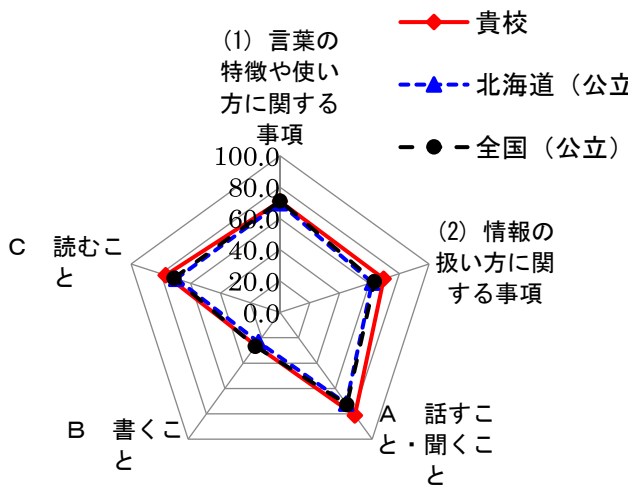


㊦漢字の書きについては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得させるために、実際に書く活動を通して指導を充実させます。1人1台端末等で文字を入力する際にも、適切な漢字を選択することができるよう、変換の際に意味を確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることができるように指導します。

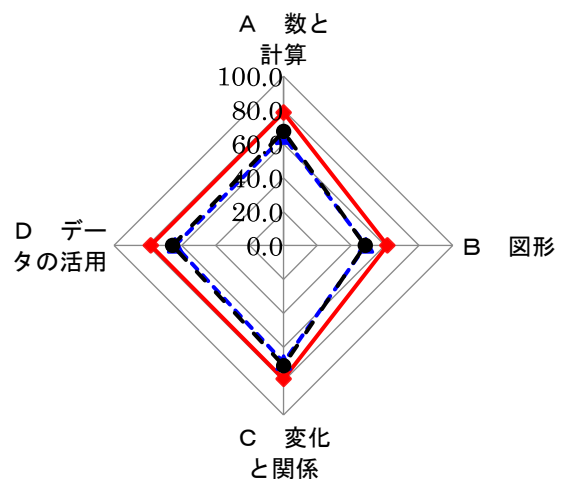
㊦敬語などの相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切に使う力を身に付けるために、日常生活の中で適宜、敬語を使えるように指導を行います。

修学旅行前に電話のかけ方や目上の人への話し方の指導を行いました。今後も継続して指導を続けていきたいと考えています。

《 国語（全国平均を「上回っている」） 》



《 算数（全国平均を「上回っている」） 》

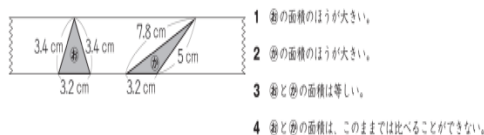


【正答率の高かった事項】

- 全領域全問題全国平均を上回りました。
- 特に、図形の領域の「台形」や「正方形」の意味や性質について理解しているかどうかの知識・技能の観点で全国比を上回りました。

【正答率の低い事項と改善策】

△図形の思考・判断の観点の正答率は全国的に低く、上記でも述べたように本校では全国平均は上回っているものの、正答率を見ると高くない状況でした。



【正答例】【番号】 3
【わけ】 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊸と㊹の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。㊸と㊹の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

【誤答例】【番号】 4
【わけ】 高さが書かれていないので、このままでは面積を求めることができないから。 …16.8%



㊸児童の多くが、2つの3角形の高さが同じであることに気が付いていないか、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断してしまったりと考えられます。具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導していきます。また、算数的用語を活用し、説明する場面を大切にしていきます。

《 児童質問紙 から見える成果と課題 》

【成果（全国平均以上となった主な項目）】

- 朝食を毎日食べているや同じ時刻に起きている、寝ているなど基本的な生活習慣は、全国比を上回りました。
- いじめはどんな理由があろうともいけないことだと思っているや人が困っているときには進んで助けようなどの規範意識の項目は、全て全国比を上回りました。特に、人の役に立つ人間になりたいの項目は全員が肯定的な回答をしました。

【課題（全国平均以下となった主な項目）】

- ▲学校に行くのは楽しいや普段の生活で幸せな気持ちになるは、全国比をやや下回りました。
- ▲英語の勉強が好きや将来、英語を使うような職業につきたいと思うなど外国語に関する質問は、全国比を下回りました。

今後に向けて



共育

- 学校の取組
- 各ご家庭へのお願い

【経営の重点】

- ・教育目標 『たくましく共に生きる 麻西の子』
- ・目指す学校像 ～子供たちと職員笑顔があふれる学校～
- ・R5重点教育目標 夢や目標に向かって、ねばり強く挑戦する児童の育成

I 確かな学力（知）

- ① 教育課程（単元・年計）の適切なR把握・P編成・D実施・C評価・A改善
- 付けたい力を明確にした学習指導・行事の実施（カリキュラム・マネジメント）
- 児童の発達段階に即した地域の特性及び施設・資源を生かした学習活動の推進（体験的な活動の工夫）
- 各種学力調査やチャレンジテスト等の適切な実施・分析に基づく指導の改善（指導と評価の一体化）
- ② 日常の授業に直結する校内研修の推進
- 「西小学習の手引き」「大麻8ルール」をもとに具体的な方向性や取組内容（学習規律・学習環境の統一、授業のユニバーサルデザイン化）を共有しながら学校全体で「よりわかる授業」の構築を目指す。
- 指導案検討、授業交流、公開授業を通して、目指す指導の共有。
- ICT 機器を活用した授業を行い、考えを表現し伝え合う子の育成を目指す。

③ きめ細かな学習指導の実施

- 算数科の授業を中心に、児童の実態ニーズに応えた指導体制を確立し、基礎基本の定着を図る（習熟度別少人数指導、TTによる指導）。

II 豊かな心（徳）

① 基本的な生活習慣の定着や規範意識、思いやりをはぐむ道徳教育の工夫

- 年間指導計画に基づく、道徳の授業実践の積み重ねを行う。
- 大麻7ルールを中心とした規範意識の指導の充実を図る。

② 教育資源を活用した授業の推進

- 児童の発達段階に即した地域の特性及び施設・資源を生かした学習活動を推進する。（体験的な活動の工夫・外部人材の活用）

③ 学習環境の整備

- 安心して学ぶことができる学習環境を目指し、可能な限りの環境整備と維持促進を図る。

III 健やかな体（体）

① 生きる力の基盤となる健やかな体をはぐむ活動の工夫

- 新体力テストの適切な実施・分析に基づく体育授業の改善を図る。
- 子どもたちが運動に親しみ、楽しく運動を行う態度の育成や体力の向上を図るため、「どさん子元気アップチャレンジ」への積極的な取組をする。
- 授業や各種取組を通して、運動の日常化を図る。

② 基本的な生活習慣の確立

- 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進

＜各ご家庭へのお願い＞

コロナ禍が終息に向かう、急速にICT化が進むなど社会が大きく変化をしている今だからこそ、学校・家庭・地域が協力し、子供たち一人一人のよさや自信を伸ばし、将来の夢や希望がもてるようにしていくことが大切になってきます。

学校では、これからもご家庭と共に、子供たちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、全職員で力を合わせていきます。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。